

令和6年度第7回芦別市部活動改革検討協議会 議事概要

1. 期 日 令和6年11月28日(木) 18:00 ~19:40
2. 会 場 福祉センター2階 大ホール
3. 参加者 委員：16名出席(5名欠席)
事務局：7名出席

4. 次 第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 報告事項

- ・資料1…令和6年度第6回芦別市部活動改革検討協議会 議事概要

事務局より資料1に基づき説明
(意見等の抜粋)

【質問】

中体連で定義されている外部指導者と芦別市における外部指導者は別か。

【回答】

芦別市における定義が十分でないため、今後は北海道の定義に合わせていく。

【質問】

外部指導者には資格が必要か。また、競技によっては資格がなければ登録できないことになっているか。

【回答】

北海道や国といった連盟に登録するためには、地域クラブの中に指導者資格をもった人が必要となる。また、競技毎の登録については、それぞれの細則によって取り決めがされており、それに合わせた資格が必要となる。

【意見】

拠点校方式になった際の、本市から拠点校までの送迎について、土日は保護者の送迎で対応できるが、平日における送迎については、市のマイクロバスなどを使わないと拠点校での練習ができない現状である。市の方でマイクロバスを出すなど対応を決めておいていただきたい。

【回答】

平日の拠点校となる学校への送迎については、提言書をいただいた後に、教育委員会で十分検討していきたい。

【会長】

送迎についての要望として検討いただきたい。

【意見】

外部コーチについては、競技毎に審判等様々な資格があり、条件が異なってくるため、情報の細かな整理が必要である。

【回答】

細則等を確認して進めていく。

4 協議事項

- ・資料2…芦別市部活動改革検討協議会提言書(素案)

事務局より資料2に基づき説明

(意見等の抜粋)

【意見】

3 ページ1 番「目標」と2 番「目標達成のための取組」は最終的に地域クラブが目指すところだと捉えている。3 番の「部活動地域移行の進め方」については、部活動に関する記載のようだが、最終的な目標としては部活動ではなく地域クラブであると捉えてよろしいか。

【回答】

最終的な目標は、検討協議会の立ち上げのときから変更しておらず、1 目標にある記載のとおりである。

【意見】

4 ページの4 地域クラブの在り方①「持続可能な取組」について、前回の会議であったかと思うが、美術など団体種目ではない文化系の種目なども含めた取組であって、団体種目に限らないということではなかったか。

【回答】

記載内容を検討させていただく。

【会長】

一部文言修正をお願いします。

【質問】

②「平日と休日の活動」「検討協議会からの主な意見」の2 つめに「学校との連携」という記載があるが、これは教員に指導を求めるという意味か。

【回答】

学校との連携は必要ではないかという意見があったことを踏まえて記載している。

【意見】

「平日と休日の活動を分けて考えることが望ましくない場合も想定されるため、…」といった内容を見ると、部活動に関する記載なのかと感じる。地域クラブの在り方についての観点で考えると、平日・休日の活動を分けて考える必要はないと思う。

【回答】

地域クラブが立ち上がったときには、平日・休日を分ける必要はないかと思う。この記載の意図としては、当初、国や道からの部活動の地域移行に関する通知等には、「休日における部活動の地域移行から進める」という方針があり、それに基づいて進めてきたが、本検討協議会を重ねるごとに委員から、平日・休日を問わず指導者の実情に合わせて進める方向性が望ましいといった意見があったので、そのような記載となっている。地域クラブの観点からすると、平日・休日を分ける必要はないと考えている。

【意見】

ここに記載されるべきなのは、部活動の地域移行についてではなく、地域クラブの在り方としてどのような活動をするかということではないか。

【回答】

記載内容を検討させていただく。

【意見】

4 ページ③「実施種目」について、現在の学校部活動の他にも、常設の種目ではないが柔道・剣道・スキーが中体連に参加している。取扱いについて、考えておく必要があるかと思う。

【回答】

常設ではない種目についても、中体連や中文連に参加しているということで、事務局として取り扱いについて検討していく。

【意見】

5 ページ④「地域クラブに移行できない部活動」について、先ほど事務局から、存続が困難な部活動を廃部するのではなく、といった趣旨の説明があったが、芦別中学

校には現在9つの部活動があり、生徒数が減少する中で種目数が変わらず、学校規模に対して種目数が多い現状である。また、生徒数に伴い教職員の定数も減っており、部活動数を維持することが難しくなっているということを共通の認識としてもっていただきたい。

【回答】

拠点校方式などを活用するなど、学校部活動の存続によらない活動も必要になってくるかと思う。指導者の確保が必要になってくることについては、総論に記載させていただいている学校との連携が必要になってくるので、提言書を提出いただいた後、学校と連携した仕組みづくりを検討していきたい。

【意見】

この項目は「地域クラブの在り方」についての内容になるかと思うので、④のような「地域クラブに移行できない部活動」といった部活動に限定した内容を記載する必要はあるか。③「実施種目」で種目については大まかに記載されている。学校の現状を考慮した内容ではなく、地域クラブをどう作っていくかという内容について記載すべきではないか。

【回答】

どの項目に記載するか検討させていただく。

【意見】

⑤「活動日及び活動時間」について、記載されている「芦別市立学校における部活動の在り方に関する方針」をすぐに確認できるよう提言書の中に参照できるようにしておくが良い。

【回答】

参考にさせていただく。

【質問】

⑥「指導体制」について、学校教員と地域の指導者が今後も継続して一緒に指導していくという意味か。

【回答】

イメージとしては、地域クラブの中に地域の指導者と学校の先生方がいて、一緒に指導していくという形を理想としているが、学校の先生方に指導を強制するものではないと捉えていただきたい。

【会長】

教員の中にも指導したいという教員とそうでない教員がいる。種目によっても、教員が指導に加わるものと加わらないものが出てくるかと思うが、希望する際には加わっていただくということになるかと思う。

【質問】

6ページ⑧「指導員の育成」について、「保護者にも受講を促し」とあるが、保護者も受講しなければならないということか。

【回答】

強制的なものではなく、促していくということで捉えていただきたい。

【会長】

このことは安平町の取組を参考としている。保護者にも色々な考えや活動に対して求めるものが様々あるが、安平町では指導方針を理解していただくための研修を行っており、成功例として紹介されていたものである。

【意見】

⑩「活動場所・物品」について、最終目的が地域クラブの在り方という観点からすると、「学校施設を基本とする」というのではなく、公共施設を利用し、その中に学校施設も含まれるというような形の方が良いのではないか。

【回答】

ご指摘いただいた点については、これまでの協議会の中で、基本的には中学校の施設を活用することで、生徒や保護者の負担を軽減することができるという観点から記載させていただいたものであるが、内容について改めて検討させていただく。

【質問】

⑪「移動手段」について、拠点校方式において支援の在り方として一番良いのはバスだと思うが、バスを含めた具体的な支援方法はどのようなものを考えているか。

【回答】

具体的な支援の在り方については、提言書をいただいた後に検討させていただく。

【意見】

7ページの⑪「安全管理」について、指導者と記載がありますが、その他の項目では「指導員」となっているので、統一した方が良いのではないかと。また、指導者ではないが一緒に活動する大人についての表記はどのように考えているか。

【回答】

指導員と指導者の記載方法については、統一していきたい。また、一緒に活動する人については、指導者等というような表現にしていきたい。

【質問】

子どもの保険については、現在の部活動ではスポーツ振興センターの保険が適用されているが、この他にも地域クラブにおける活動をする際にはさらに別の保険をかけることになるのか。

【回答】

保険の適用範囲等を確認した上で、取り進めたい。

【意見】

8ページの7「今後の継続的な検討」について、最終的な目的としては、理想とする地域クラブの実現ということになるかと思うので、「中学校部活動の地域移行の実現」や「地域クラブの創設」という記載ではなく、最終的な理想とする目的に向けた内容の方が良いのではないかと。

【回答】

記載内容を検討させていただく。

【会長】

提言書に関わる部分は以上になるが、本日、委員の皆さんからいただいた意見等については、提言書の趣旨や内容に大きな影響を与えるものではないと思うので、今後における提言書の修正等については、正・副会長と事務局に一任をいただくということによろしいか。

【委員から特に意見なし：承認】

5 その他

・(1)提言書の提出について

事務局より提言書の提出時期を12月中旬から下旬を想定している旨、口頭で説明があった。

・(2)今後の進め方について

口頭での説明になるが、提言書については、来年1月の教育委員会会議において、その内容を報告し、教育委員会としての考え方・方針を取りまとめようと考えており、その後、市の意思決定機関である庁議において、決定した教育委員会の考え方を報告し、芦別市としての方針を決定した後、市議会にその内容を報告しようと考えている。

なお、検討協議会委員の皆様には、教育委員会及び芦別市の考え方・方針について、今年度中、来年の3月までには、検討協議会を開催し、その内容について報告させていただきたい。

また、来年4月以降、地域クラブのあり方、拠点校方式や合同部活動など広域的な取組、各競技団体と中学校との連携の推進、地域移行が可能な種目における部活動の先行実施など、今後、具体的な検討が必要になってくることが想定されるので、引き続き検

討協議会での議論をお願いしたい。その詳細については、先ほど申しあげました遅くとも3月に開催する「検討協議会」において説明をさせていただく予定であることを申し添える。

6 閉会

【教育長】

本日も長時間に渡りまして活発なご意見を交わしていただきお礼を申し上げる次第でございます。恐縮ではございますが、少しお時間をいただき、ご挨拶を申し上げさせていただきたいと存じます。

本協議会につきましては、昨年の10月に設置させていただき、これまで11回の会議と3カ所の先進地視察を実施するなど、委員の皆様におかれましては長期間にわたって議論を重ねていただき、この度教育委員会に対する提言書を取りまとめたところでございます。

皆様におかれましては、日々、何かとご多忙の中、日程のやり繰りをしていただきながら会議にご出席いただきましたこと、そして様々な観点から活発な意見交換や議論をいただいたところでございまして、皆様の多大なご尽力に心から敬意と感謝を申し上げます。

提言書の本編におきましては、委員の皆様の貴重なご意見やご要望などが集約、反映されているものと受け止めさせていただいているところでございます。

また、提言書の資料編におきましては、様々なご意見とともに解決していかなければならない諸課題や懸念される事項などについても皆様からのご意見として掲載されているところでございます。

教育委員会といたしましては、提言書の提出をいただいた後、教育委員会会議におきまして、提言書の趣旨を十二分に踏まえながら、部活動の地域移行だけでなく、市民の皆様のスポーツ・文化芸術活動の受け皿となります地域クラブの必要性とそのあり方につきまして、方針決定して参りたいと考えているところでございます。

その上で、次のステップとして大切なことは、地域クラブそのものの運営内容の詳細を検討し決定していくこと、さらには拠点校方式の体制整備のほか、関係団体の皆様の御協力をいただきながら地域クラブ創設までの間、部活動の先行実施を進めていく必要があるものと考えているところでございます。

このようなことから、今後の進め方について、先ほど事務局からご説明いたしましたとおり、本協議会につきましては、当面このまま存置させていただき、提言書を踏まえた教育委員会や芦別市としての方向性や方針に関して皆様にご報告を申し上げるとともに、地域クラブ創設に向けた進捗状況のご報告のほか、地域クラブの運営などに関する諸課題や懸案事項について、是非、皆様のご意見や知恵をお借りいたしたく、今後におきましても本協議会を開催させていただきたいと考えているところでございますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

あらためまして、会長様、副会長様をはじめとする委員の皆様のこれまでの多大なご尽力に心からお礼を申し上げますとともに、今後におきましても、特段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。言葉足らずでございますが、提言書のまとめという節目にあたってのお礼とお願いの挨拶といたします。委員の皆様、本当にありがとうございました。